

佐々木敦史のドイツ生活日記



【ドイツのクリスマス①】

11月下旬から街ごとにクリスマスを祝うマーケット（バイナハツマルクト）が開かれる。ソーセージ（ブルスト）、お菓子、飾り物などが売られ、連日夜まで大勢で賑わう。移動遊園地や演奏会も開かれクリスマスイブ直前（22日くらい）まで盛り上がる。



【ドイツのクリスマス②】

寒い日はホットワイン（グリューワイン）が美味しい。ドイツ人はみんな大好きだ。子供たちはアルコール抜きのキンダープンシュを飲む。カップをお店に戻せばカップ代が返ってくる。このカップはマルクトごとにデザインが違うので、記念のお土産にもなる。



【ドイツのクリスマス③】

12月に入るまでに子供たちはアドベンツカレンダーを用意する。日にちの書かれた扉を開けるとお菓子やおもちゃが入っていて、毎日ひとつずつお菓子を楽しむ。ちょっと扉を開けるのを忘れると、一気に1週間分食べなければならないので注意が必要だ。



【ドイツのクリスマス④】

アドベンツクラントはリースに4本のロウソクが立ててあり、4週間前から日曜日に1本ずつ火を灯してクリスマスを待つ。直前の日曜日は4本全部灯される。直前まである程度のロウソクの長さを確保しておかないと最終日曜日に少々寂しい思いもする。



【ドイツのクリスマス⑤】

シュトーレンはクリスマスのケーキ。レーズンやナッツの入ったどっしりとしたお菓子で日持ちもする。修学旅行の体験学習でシュトーレンづくりをしたが、たっぷりのバターと大量の砂糖をまぶす工程に美味しさの秘密を見た気がした。写真右は手作り。